



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y's Men's CLUBS  
JAPAN EAST REGION TOHSHIN DISTRICT  
TOKYO MACHIDA SMILE-RING Y's Men's CLUB

## 東京町田スマイリングワイズメンズクラブ



2021年

1月号(第21号)

「当クラブは町田市社会福祉協議会が奨励するわくわくサロン」の公認団体です」

**THE SMILE-RING** Chartered in Feb. 20

### 今月の聖句

心を尽くして主に信頼し、自分の分別には頼らず、常に主を覚えてあなたの道を歩け。そうすれば、主はあなたの道筋をまっすぐにしてください。

箴言 3章 5~6

### 【1月の巻頭言】

為我井輝忠  
新年おめでとうございます。皆様にとって2021年が良き1年となるようお祈りいたします。これまでこの言葉を過去何十回と繰り返してきました。しかし、今年はこの言葉の重みがこれまでとはかなり違うように思います。昨年は1月からずっと新型コロナウイルス騒ぎのために日本だけでなく世界中で多くの方が感染し、亡くなりました。もしかして自分の周りでも、否、自分自身がその危険な状態の中にいたかもしれません。そんな中でこのような言葉を口にできるのは大きな慰めであり、安堵であります。今年はいつより大にして口に出したいです。

昨年来、目に見えぬウイルスに怯えながら、不自由で窮屈な毎日を強いられ、やりたいことも殆ど出来なままに一年が過ぎてしまいました。一方で、これまで普通で当たり前のことだと思っていたことが、そうでないことに気付かされました。そして、自分にとって身近な存在や場所に目向け、改めてその大切さに気が付く契機になったのではないのでしょうか。

そこで、迎えた2021年。この状況が終息するまでにはまだ時間がかかりそうですが、重苦しいトンネルを抜け出すことには間違いありません。(次頁へ)

### 《モットー》

『強い義務感を持つ 義務は全ての権利に伴う』

国際会長 ヤコブ・クリステンセン(デンマーク) 「命の川を信じよう」  
アジア・太平洋地域会長 デビット・ルア(シンガポール)

“変化をもたらそう!”

東日本区理事 板村哲也(東京武蔵野多摩) 「変化をたのしもう！」

東新部部長 加藤義孝(東京) 「友情の絆を強め YMCA を支えよう」

クラブ会長 為我井輝忠 「感謝、信頼、地固め、そして成長！」

[クラブ役員] 直前会長 太田勝人 書記 尾張日出夫

担当主事 諏訪治邦

### 2021年1月例会プログラム

日時：2021年1月20日(水) 19:00~20:30

会場：Zoomにて開催します。

(下記 UNL をクリックしてご入場下さい)

<https://us02web.zoom.us/j/9543557863?pwd=TWxHYlJYMG0vMXNyZWZicFpZl1JUUT09>

司会 尾張日出夫

1. 開会点鐘 会長 為我井輝忠
2. ゲストとビジター紹介 会長 為我井輝忠
3. 卓話「市川歴史散歩を通して思うこと」  
東京クラブ 長澤 弘 様
4. 諸報告など 太田 勝人
5. 閉会点鐘 会長 為我井輝忠

☆1月例会には東新部加藤義孝部長及び役員の公式訪問があります。

※ ZOOM につき一部省略させていただきます。

※ 事前にクラブ事務局へお申込み下さい。

(申込み先については次頁をご覧ください。)

12月の在籍者		例会出席		BFポイント		ファンド	
メン	12	メン	6	現金	0	スマイル	0
休会中	3	ビジター	2	切手(円)	20,200	オークション	0
メーカー		ゲスト	1				
		メーカー					
合計	9	出席率(%)	66.7	累計	20,200	累計	0

我がスマイリングクラブはもはや旧弊にとらわれることなく進んでいきたいです。皆さんの知恵をいただきながら、様々な新しいことに挑戦していきましょう。主と共に精進邁進していきましょう。1月20(水)は2021年最初の例会(Zoomによる)が行われます。ぜひご参加ください。

### 【今月の強調テーマ】

#### 1月の強調テーマ：IBC/DBC

「IBC」とは International Brother Clubs の略で、国際兄弟クラブのことです。

クラブが外国のクラブと兄弟クラブ締結を行い、永続的な交流を続けること。またその相手クラブのことを指します。新たにIBC関係を結ぼうとするクラブ同士は、十分な事前準備を行い、IBC締結式を開き、締結書を交わします。

我がクラブは国際協会の一員であり、IBC関係に入ると、更に関係が広がっていきます。

それができるためには、会員を増やし、会員同士が合意して国際交流の機運を高めることが重要です。

「DBC」とは Domestic Brother Clubs の略で国内兄弟クラブのことです。IBCにならった国内間の兄弟クラブの制度で、日本、台湾のワイズの独自のものです。

東日本区、西日本区の発足(25年前の1995年)により、東西クラブでの締結が促進されています。10周年記念とか周年行事などを迎えたときには、相互に行き来して交流を深めると、より一層楽しい、充実したワイズライフが持てます。

IBCと同じく会員同士の合意が大事です。

(太田記)



### 【12月のZoom例会のご報告】

12月の例会は長澤様からZoomをお借りして12月16日(水)に開催しました。(19時~20時30分)参加者は、下記の8名でした。(内訳・敬称略)

\*ゲスト：郷進太郎様(東京YMCA西東京コミュニティセンター)

(卓話テーマ)「熊本 球磨村大水害復旧支援の体験」

\*ビジター：江口(東京)、権藤(コスモス)

\*当クラブ：為我井、太田、尾張、諏訪、城田の5名

\*卓話の内容は下記の通りです。

#### 1. 報告事項(太田発表)

(1) 12月7日町田フォーラムで太田・為我井・尾張の三役が第二例会として打合会を行い、今後の例会で、江口様からZOOMをお借りして、例会を開催できることを確認しました。

(2) チェンジ2022の課題として当クラブは2年後には会員数を15名に増やす目標を立てているので、皆様にご協力頂き、お知り合いの方々にお声を掛けて是非会員増にご協力いただきたい。

なお、賛育会の北川様には未だ例会に来て頂いていないので、是非例会にご参加頂きたく、皆様からもお声掛をお願いします。

(3) 当クラブでは今まで山崎の悠々園や野中ホールなどで歌声サロンの活動をしてきましたが、その他にもクラブの柱になる活動の場を増やしたい。また町田史跡めぐりのような町田市のクラブならではの活動を広げ、身の丈に応じやれることやっていきましょう。

(4) 「ワイズとファンD」と題した記事を2回に亘ってブリテンに掲載しています。これは東京まちだクラブの小山正直様が以前に執筆された記事ですが、現状に見合うよう東京たんぽぽクラブの小原史奈子様が再編した記事を掲載させて頂いています。

(5) 東新部次期部長にコスモスクラブの松香会長が就任されることになり、当クラブから太田様三つの役割で加わり、尾張が書記の権藤様を補佐することになりました。ユース事業担当として城田さんに担当をお願いしました。

(6) 2月20日(13:30~15:30)予定のフレッシュワイズセミナーは、今年は東新部EMCセミナーで多摩みなみの石田さんが入会5年になりその体験を発表するフローチャートに纏めています。

(7) 権藤様より：町田YMCA12月26日予定のクリスマス祝会はコロナ禍の為中止となり残念です。

(8) 為我井会長より：来年度が町田スマイリングクラブ勝負どころだと考えています。当クラブ会員増強だけでなく活動内容の充実をはかりたいので、皆様の協力が是非必要です。そして地域に根ざした活動をしていきたいと思っています。

### 【事務局からのご連絡等】

(1) 1月の例会もコロナ禍を避けてZOOM例会です。皆様のご参加をお待ちしています。

- ① 日時：1月20日（水）19：00～21：00
- ② 卓話は「市川歴史散歩を通して思うこと」と題して東京クラブの長澤弘様にお話し頂きます。
- ③ 1月例会には東新部加藤義孝部長及び役員の公式訪問があります。
- ④ 参加申込：クラブ事務局・尾張まで  
\*メール：howari3119@kib.biglobe.ne.jp  
\*TEL：090-2248-8609  
\*ご都合による当日の飛び込み参加もOKです。
- ⑤ 時間になりましたらURL（1頁の例会プログラムに表示）をクリックして下さい。

（尾張 記）

## 熊本 球磨村大水害復旧支援の体験 東京 YMCA 郷 進太郎様



熊本県・球磨村の被災地支援のため9月14日に球磨村に入りました。球磨村は7月10～11日に大水害に被災しますが、それから約2ヶ月後に現地に入ったにも関わらず、一見したところ復旧が進んでいない様にみえました。

### （被災支援の拠点）

球磨村の支援の為の拠点は二つありましたが救援チームのYMCAとピースボートは球磨村の旧多良木高校を拠点としました。球磨村と言えば球磨焼酎で有名ですが、球磨川は日本三大急流として知られており、カヌーなどのボート競技にも利用されています。現地から近いところに温泉が多数ありました。

### （被害の状況）

球磨川の氾濫による被害は4年前の熊本地震の被害総額とほぼ同じだと言われおり、如何に被害が甚大であったのか判ります。

- ① 建物の損壊は、全壊217戸、半壊458戸 床上浸水5830戸でした。
- ② 熊本県の死者は65名。球磨村の死者は20名ですが、その内10名は球磨村の老人ホーム千寿園の入所者でした。
- ③ 球磨川に架かる橋が4つ有ったが内3つが流されて、使える橋は一つだけでした。

- ④ 道の駅があつたが廃墟のようであり、JRの線路も曲がって走れない状態だった。

### （支援の内容）

支援スタッフは毎日午後2時にミーティングにより意見交換をして問題を共有し、次の活動に反映させた。毎日午後3時に体操教室をした。

- ① 支援スタッフはYMCA、ピースボート、賛育会が中心になって活動した。
- ② 全国から到着する物資を仕分けして分配する作業は桜ドームという施設で行った。物資は大量ではあるが本当に必要な物資が少なかった。
- ③ マスコミ対応は全て支援スタッフが担当した。
- ④ 弁当を配っていたが、当初二ヶ月間は毎食同じ弁当だったが、今は変化のある弁当になった。
- ⑤ 子供の遊び場を作って一緒に遊んだり、勉強の手伝いをした。一緒に段ボールハウス作りもした。
- ⑥ YMCAとAMAZONが協力してプログラミング教室をした。子供達に良い思い出になったと思う。

### （まとめ）

避難所は応援スタッフと避難所の皆さんと一緒に作り、一緒に運営するものだと痛感しました。そして避難所がどのような状況かを皆様にお伝えして、募金活動に結びつけたいと思っています。

## ワイズとファンドについて（後編） 東京まちだクラブ 小山正直

東京まちだクラブの小山正直ワイズが「ワイズとファンド（基金）」についての解説文をお書きになり東京たんぼぼクラブの小原史奈子様に現状に合わせて校正して頂き、前号でその前半をご紹介しましたが、今号で引き続き後半を紹介させていただきます。

（注）出典は「5つの説話集より」の第2話です。

2月に行われるTOF Time of Fast 断食の時、各クラブでは例会の一食を抜いてその分を献金します。東日本区の場合、目標額を一人あたり1300円としています。このプログラムは、1973年から始められ、これまでに多くの献金が集められ、用いられてきました。それを飢餓に苦しんでいる地域にだけでなく、開発途上国でのYMCA活動推進としても支出しています。資金がどのように生かされているか検証して国際議会でそのプロジェクトを続けることが妥当と判断すれば3年くらい援助を続ける仕組みになっています。出っぱなしではなく、必ずフォローするということがこのプログラムが成功している理由だと思います。こ

のプログラムはワイズの自慢しているプログラムで、継続が力を実証しています。

(2020-2021 年度は新たに 8 つのプロジェクトを承認し、合計 118,036 スイスフランを提供しています。)

CS Community Service (地域社会・隣人奉仕活動)  
これは YMCA と協力して地域社会の求める奉仕を実践するというのが基本になっています。CS ファンドは区と部の目標額がそれぞれ一人当たり 1250 円を集めるので、合計 2500 円のファンドに各メンバーは応じるといふ事になります。区ではお年玉付き年賀はがきの当選切手シートを集め、これをクラブで換金し、その資金と自由献金による基金が活用されています。区に集められた CS 資金は、「東日本区 CS・Y サ・ASF 資金運用規定」に基づき運用され、主に日本 YMCA 同盟が行っている関連事業に拠出されています。部に集められた CS 資金は、部の規定に従って各クラブの地域サービス事業の奨励などに使われています。

次に EF Endowment Fund について。これはワイズダム発展のために会員やクラブなどからの寄付、遺贈、献金などによって集められた基金です。献金額は任意

ですが、120 米ドル以上の献金をすることによって、寄贈者とその理由が国際本部事務所にある THE GOLDEN BOOK のポール・ウィリアム・アレキサンダーフェローのページに記載されます。個人で毎年 50 米ドル以上の献金をした人には、エンダウメント・フレンドのページに記載され、1000 米ドル以上の献金者には、オーナーロール・メンバーの名称が与えられ、名前の記載と記念品のアイスバーグ・ミメント(冰山を模した置物)が贈られます。何かの記念に EF へ献金されるといいと思います。

JEF(東日本区ワイズ基金)は、東日本区の基金作りです。これは熱海基金というのが原点ですが、日本区が東西に分かれた時、それぞれの区が引き継いで、EF にならって「奉仕帳」を作り、献金者の氏名、献金理由を記録しています。個人やクラブに何か良い事があった時、JEF に記念として献金されれば基金として積み増しされます。この資金は特別なクラブ発展の事業の奨励などに使われる事になっています。

(完)

## YMCA NEWS

2020 年は、コロナの年でした。今年のスタートもコロナで始まりそうです。今月の聖句は、まさにスタートの 1 月に合致した聖句だと思っています。私たちの目の前には、新しい年の門が開かれています。

主を信頼しながら、自分の分別に頼らず道を歩くことが大切だとも言っています。まっすぐな道筋を歩むことができること、それはとても簡単そうで難しいことだと思います。主を常に据えながら自分の道を歩む、そのような人生の歩みをしたいものです。

この冬は、YMCA の様々なプログラムが中止になっています。コロナの影響は、皆さんの生活にも影響があるかと思います。現在の私の担当は、指定管理で公から運営を委託されている、児童館や学童クラブを担当しています。関わっている子どもたちは、ご多分に漏れず大きな影響を受けています。詳しい状況はお話できないのですが、環境は劇的に変わってしまっています。その中で、子どもたちに寄り添う・保護者に寄り添う・近隣住民社会に寄り添う仕事だと思います。コロナ禍のライフスタイルを変えと言っても大変難しいかも知れませんが、それがまっすぐな道筋であるならば、しっかり見据えて歩きたいものです。(諏訪治邦 記)

### これからの予定

- ① 2021 年 1 月 20 日(水) 例会 (Zoom 例会) 19:00~
- ※ 1 月例会には東新部加藤義孝部長及び役員の公式訪問があります。
- ② 2021 年 2 月 24 日(水) 例会 (Zoom 例会) 19:00~

○例会日 第 3 水曜日 19:00~21:00 場所: まちだ中央公民館 6 階 町田市原町田 6-8

○第 2 例会 第 1 土曜日 13:30~15:00 場所: まちだ中央公民館 6 階 町田市原町田 6-8

### 東京町田スマイリングワイズメンズクラブ

事務所: 〒242-0007 神奈川県大和市中央林間 太田勝人気付

会費振込口座: 城南信用金庫、玉川学園支店(支店番号: 075)

普通預金 口座番号: 155093 口座名義: トウキョウマチダスマイリングワイズメンズクラブ